20班
[redacted]

①MIKIWI（マイキウイ）

MIKIWIの代表はニュージーランド人であり、この広い園地では、ニュージーランド方式でキウイの大規模栽培がおこなわれている。この農園では、大手キウイ販売会社であるゼスプリで販売されるキウイを栽培しており、特に「サンゴールドキウイフルーツ」というゴールドキウイが栽培されている。栽培スタッフは、日本人だけでなく外国人や帰国子女もおりグローバルな職場となっている。**MIKIWI**はFacebookで情報発信を行っており、キウイの栽培状況やスタッフの作業の様子を写真とともに投稿している。

②朝草大師堂

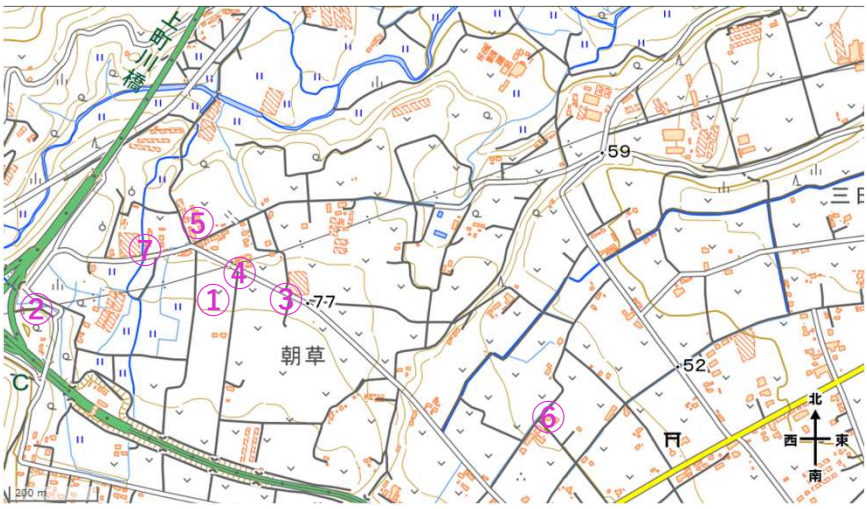
大師堂は、大師号を贈られた僧を礼拝の対象として祀るものであることから、この朝草大師堂も大師号を贈られた僧と何らかの関連があると思われる。大師号は仏法に通じた徳の高い僧に対して、主に本人の死後に朝廷から贈られる称号である。山奥を抜けた細い道の奥にある。

③朝草公民館

施設はきれいに使われており、比較的手入れも行き届いている様子では、あったが、頻繁に使われている様子はなかった。さらに、家が周囲にほとんどなく、坂の頂上だったため、交通の便が発達していないこともあり、あまり使われていない様子だった。

④バス停

金曜を除く平日にのみ、さらに、一日２便しか通っておらず、移動手段として、機能しておらず、自家用車が必要不可欠；だと感じた。さらに、免許を返納している高齢者にとっては、近くにスーパーもないため、かなり不便だと感じた。



⑤空き家

手入れがなされておらず、草木で生い茂っていた。窓が日々が入っていたり、割れていたりしている。しかし、建物自体は、あまり、崩れていなかった。定期的に管理する人がいないように見られる。ごみの不法投棄も数多くみられ、衛生的にも景観的にもあまり、良いものとは思えなかった。

⑥ソーラーパネル

畑や住居が広がる中に小規模なものが設置されていた。農作物を作らない休耕地や耕作放棄地を転用して、このようなソーラーパネルを設置することで、農家にとっては売電収益を得ることができるというメリットがある。また、農地を転用した土地は日当たりがよいため、太陽光発電に適している。

⑦防火水槽

防火水槽とは、火災発生時に消防隊や消防団が使用する消化水利の一つである。水は、一応溜まっていたが、コンクリートには、複数ヒビが入っており、整備しているとはあまり、思えなかった。周りに植物が生い茂っており、いざというときにすぐに扱えるような状況とは思えず、さらに、状況によっては、妨げにもなりうるのではないかとも感じた。

実習で気づいたこと

フィールドマップや地域資源マップ作成を通して、現地に行くことの大切さを学ぶことができた。インターネットで調べただけでは、わからなかったことや、気づかなかったこと、インターネットに載ってなかったことがたくさんあった。いい点としての気づきとして、緑の豊かさがあった。なぜなら、フィールドワーク実施日が快晴だったということもあり、自然の豊かさ、水の透き通るほどの美しさ、空気のきれいさをとても強く感じた。対して、改善すべき点もあった、その一つが、バスなどによる公共交通機関の本数が少ないといった、交通における不便さだ。町中で走っているバスでさえも１日にの２本で、日にちによっては、一本も走らない日もあったということ。さらに、スーパーやコンビニが近くに見当たらなかったため、買い物をするには不便だということだ。